

様式

技術名称	Re-Pier工法	技術の分類	施工	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	KTK-160022-A	
会社名等	あおみ建設(株)	担当者	吉原 到	連絡先	03-5439-1014	
技術の概要	既設栈橋の鋼管杭を伸縮式のストラット部材で連結することで、耐震性の向上や増深化を図る工法である。 従来は上部工を撤去してストラット部材を設置後、上部工を新設することで対応していた。本技術では上部工の撤去が不要なため、岸壁を供用しながら施工でき、工程短縮、工費縮減が可能。			対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 国土交通省職員 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 一般(施工業者・コンサルタント等含む)	
				添付資料	パンフの有無	有
					その他の資料	
技術の特徴	○部材設置に際し栈橋上部工の撤去・復旧を不要とし、大幅なコストダウンと、工程短縮を実現。 ○鋼管の出し入れで部材長を調整できるので、既設鋼管杭への簡便な追設を実現する。また、補剛部材は同一寸法で製作すればよく、事前の詳細な杭間測量が不要。 ○専用フローターを使用し、栈橋下での潜水士による重量物の人力設置作業を実現(作業用船舶不要)。 ○栈橋の供用制限を極力抑えて施工が可能。			その他	・ストラット部材は電気防食で対応するため、部材設置水深はLWL-2.5m以深を標準とする ・部材設置作業空間として、ストラット部材下端から海底面まで1m確保する必要がある  ・特許4864774「水域構造物の補強工法」 ・特許6216340「フローター及び水域構造物補強工法」 ・特許6360725「2重管用シール材」  ・第19回国土技術開発賞 優秀賞受賞	

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。